

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)						
ET45H003	障害児教育指導特論(Special Seminar in Special Education Teaching)					特別支援教育						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
選択	2	1	大学院教育学研究科			氏名 藤野陽生 E-mail fjinoh@oita-u.ac.jp 内線						
授業の概要	障害児教育の学校現場で実践されている自立活動の指導内容を分析することを通して、障害児の自立活動の指導理論と指導方法の専門的知識を身につけることで高度な研究能力を養成する。また、自立活動に必要な要素を理解し、自立活動の実践につなげる基礎を身に着ける。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1 2 3 4 5 6 7 8 9 10						
目標1	自立活動の考え方に基づいてアセスメントができる											
目標2	教育課題に対する指導の方法を立案することができる											
目標3												
目標4												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	自立活動について											
2	自立活動の変遷について											
3	自立活動の難しさ											
4	自立活動の特別支援教育における意義											
5	視覚障害児・聴覚障害児の自立活動											
6	肢体不自由児・重複障害児の自立活動											
7	病弱児の自立活動											
8	発達障害児の自立活動											
9	自立活動の計画											
10	自立活動の計画の検討											
11	自立活動の実践例：特別支援学校											
12	自立活動の実践例：特別支援学級											
13	自立活動の実践例：通級											
14	自立活動の実践における課題の検討											
15	自立活動のあり方について											
ラック ニティ ゲ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	各回で、参加者の疑問を元にディスカッションの機会を設ける。自立活動における指導内容について、学生自身がアイデアを出して、指導内容を考える機会を作る。			工夫 その他							
時間外学修 の内容と時 間の目安	準備 学修 事後 学修	配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する。自立活動に関する文献の収集、プレゼンテーション、レポート作成等の準備をする。(30h) 関連する資料を調べる、読む等すること(15h)										
教科書	教科書は指定しない。											
参考書	特別支援学校学習指導要領等 必要な文献、論文について適宜紹介する											
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	プレゼンテーション	40%										
	討論への貢献	30%										
	課題レポート	30%										
注意事項												
備考	疑問や自分の意見について積極的に発言すること。											
リンク	URL											